

大会趣旨

最近の少年部の大会は勝利至上主義に走り、勝てば良い式の戦い方をする選手がいる一方、やっている本人よりも回りの大人の方がエキサイトしていることも多く見受けられます。

しかし、空手はただ単に殴り合いに強くなるだけが目的ではありません。苦しい稽古を通じて、自分自身に打ち克つ強い精神力を身に付ける事が大切なのです。試合の相手に勝つことだけを上達の基準にしてしまうと、試合結果で自分のことを判断してしまい、他の者より優れていなければ駄目だ、というような考えを持ってしまふこととなります。そうすると、人より上達が遅かったり、試合に負けたりした時に稽古するのが嫌になったり、自分は空手に向いてないんじゃないかと思えてきて、中途半端でやめてしまいたくなる場合があります。しかし、そうではなく自分自身が一生懸命に稽古をしたのか？ 昨日の自分より(精神的にも肉体的にも)強くなっているのか？ という方が大事なことです。

ここに少年部の空手修行の一環として参加することに意義のある大会を企画致しました。出ることを目標にできる大会を目指し、日々の稽古をしているだけではどうしても意欲が停滞しがちな、慣れや飽きを乗り越える一つの方法として参加してもらいたいと思います。

もちろん大会は一つの勝負の場なので勝ち負けは出てきます。しかし、負けた時はそれを素直に受け入れ、次へのステップにしてください。一つの「大会」という目標に向かって努力を続けることが、自然と空手本来の目的に沿ったものになっていくのならば、この大会に参加した意味があるのだと思います。

この大会が級位(帯)の認定と同じように、子供たちの空手を続ける上での励みとなることを期待しています。

押忍